　卒業生の皆さん、きょうは本当におめでとうございます。

後ろから見ると、ランドセルだけが歩いているようにしか見えなかった新一年生の時から

活発な空気を誇りに思うようになりました。

地域の歴史や生活に目を向け、学校行事の一環として伝統産業や芸能の見学をしたり、古老を

訪問して歴史を学ぶといったユニークな教育は、生徒たちの視野を大きく広げてくれました。

実は私自身も、この小学校の卒業生です。本校には、伝統を大切にしながら、地域に開かれた教育をめざす、という素晴らしい校風が昔からありました。自分の娘が同じ学校に通うにようになり、あらためてこの校風が生み出してきた自由で

　ご来賓の皆さま、ご多忙にもかかわらず、

ご臨席いただいただけでなく、心のこもったお祝いの言葉まで頂戴し、感激にたえません。保護者を代表して、心からの感謝の気持ちを申し述べたいと思います。

きょうまで、たくさんのことを学び、楽しく過ごしてきたことと思います。みんなが揃ってきょうを迎えることが出来たのは、校長先生はじめ、

諸先生方の絶えることのない温かいご指導の

おかげです。

謝　辞

保護者代表

丸愛　太郎

○○○○年○月○日

ご活躍されますようお祈りして、謝辞に代えさせていただきます。

こうした経験は、これから中学生となり、やがてもっと広い世界に巣立っていく上でも、貴重なものとなるでしょう。

一人ひとりの生徒には、それぞれ異なった夢や希望があります。その個性を大切に育み、温かく、

時には厳しく見守り、指導してくださった先生方に接する中で、私たち保護者も、子どもたちと

一緒に多くのことを学ばせていただきました。何よりも、他人を思いやる気持ち、自分と他人の違いをお互いに尊重することの大切さは、大勢の

○○小学校が培ってくれた伸び伸びとした気持ちで柔軟にぶつかっていけば、大きな成長への

ステップとなっていくに違いありません。

諸先生方へのお礼の気持ちは、とても言い尽くせないものがありますが、ますますご健康で

お友だちと過ごしたこの六年間がなければ、身につけることがむずかしかっただろうと思います。

四月からは、いよいよ中学生です。おとなに

一歩近づくことで、これまでとは違った困難にぶつかることもあるでしょう。しかし、この